

ニングルの会
5周年記念公演

ピアノソナタ「月光」による朗読劇

月光の夏

原作・脚本 毛利恒之

あの遠い夏の日、

あなたが弾いた「月光」は
今も私の耳の奥底に残っています。

それはあなた方がこの世に生きて証し

かけがえのない命の証し

太平洋戦争では約310万もの日本人が命を散らしました。中でも特攻と呼ばれる若者たちが死を覚悟して、敵艦めがけて体当たりしていったことはよく知られています。運よく生還した人たちも、必ずしも素直に喜べる状況ではありませんでした。戦争は多くの人々の命と共に、その輝ける未来をも奪ったのです。「月光」を弾いた特攻隊員は実在したのか？ 登場人物達と共に過去へと時を遡るうち、私たちはそこに何を見出すのか？

2008年8月10日(日) **入場無料** 要整理券

午前の部 午前9:30開場 / 午前10:00開演

午後の部 午後1:00開場 / 午後1:30開演

会場：ソフトピアジャパン センタービル1F セミナーホール

[主催]ニングルの会 [後援]大垣市・大垣市教育委員会・大垣市文化連盟・NPO法人大垣まちづくり市民活動支援会議

[お問い合わせ] TEL0584-89-6052 和田 / 0584-22-3870 岩田

月光の夏

ニングルの会
5周年記念公演

2008,
8/10(日)

ソフトピアジャパン センタービル1F
セミナーホール

要整理券

入場無料

午前の部：開場/午前9：30 開演/午前10：00
午後の部：開場/午後1：00 開演/午後1：30

ご挨拶

ニングルの会は、平成15年8月の初公演より今年で5年目となります。今回は、5周年記念として、朗読劇【月光の夏】を2回上演いたします。地域の皆様に、これまであたたかくご支援ご協力を頂いて、私共の活動を推進出来ました事、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

皆様にご指導をいろいろ頂きながら、市民活動団体として、又、ボランティア団体として、小学校、中学校、高校と出前上演をする事ができました。また、老人福祉施設などでは、あたたかいふれあいを持ちながら朗読劇を楽しんでいただく事もでき、とても感謝いたしております。これからも、朗読劇を通して、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、いのちの大切さを共に考え、伝えていきたいと思っています。

ニングルの会をどうぞ宜しくお願い致します。

ニングルの会 代表 和田知加子

ストーリー

昭和20年5月、佐賀県にある鳥栖国民学校に飛行服を着た二人の青年がやってきた。彼らは目達原基地の特攻隊員であった。「死ぬ前に一度、思いっきりピアノを弾かせてほしい」という青年の言葉に、当時教員として奉職していた17歳の吉岡公子は、二人を音楽室に案内する。「先生、あなたの耳に残しておいてください」そう言うと一人の青年がピアノに向かった。万感の思いを込めて、青年の指が「月光」を奏で始める。

平成元年、古くなって壊されようとしているピアノを救おうと、公子は小学生の子どもたちを前に、二人の青年の思い出を語る。彼女の話は人々の心を動かし、ピアノは保存される事になった。しかし青年達の名を覚えていなかったために、公子は話の真実を疑われることに……。

九州放送ラジオ局の石田リエと放送作家の三池安文は、真相を明らかにしたいと取材を開始するが……。

キャスト



(吉岡 公子)

岩田 みどり



(語りB 町の声)

大角 寿和子



(語りB 町の声)

大林 八重子



(語りA)

久保田 愛子



(風間久代・石田リエ記者)

高橋 喜代子



(語りA)

西田 松代



(吉岡 公子)

星野 圭子



(風間久代・石田リエ記者)

和田 知加子



(海野光彦・矢ヶ島参謀・他)

打田 茂



(石倉金吾・他)

熊崎 閑示



(風間森介)

武山 博



(三池安文)

外山 文孝

STAFF

演出：打田 茂(俳優館)
美術：熊崎 閑示(クマ工房)
音響：田口 信三(TSS)
照明：乾 仁美
(総合舞台はくるま)
企画制作：ニングルの会
協力：劇団東演



ピアノ：西脇 麗子
(大垣女子短期大学)



演出助手：松島 頼子